

コンピュータを活用した総合的な学習の時間

本郷小学校（実践・報告者） 赤石 貴志

1. 単元名 「コンピュータを使って」

～俳句・短歌の作成を通して～

2. 単元の目標

- ・コンピュータソフト（スマイル 2）を活用して、作品を作成することを通して、コンピュータ操作の技能の向上を目指す。

3. 情報活用機器の活用の意図

今までコンピュータの使用は調べ学習が中心で、コンピュータを活用して表現活動を行うことはあまりなかった。パソコンクラブに参加している児童など一部の児童は、コンピュータを活用して作品作りをしているので、コンピュータの操作技能が高いが、それ以外の児童は、コンピュータを操作し、コンピュータのソフトを活用してまとめることは苦手な様子が見られた。そこで、国語の時間に学習した「短歌」や「俳句」を作成することを通して学校課題である表現力の向上を目指すとともに、コンピュータを使用してまとめることで、コンピュータの技能の定着を目指した。

4. 指導計画（5時間）

時数	主 な 学 習 活 動・内 容	指 導 上 の 留 意 点
1	1. 短歌や俳句を考える。 2. 短歌や俳句に合うイラストの下書きをする。	・国語で学習した短歌や俳句のきまりに注意して作品作りを行わせる。 （短歌 5・7・5・7・7の字数） （俳句 5・7・5の字数。季語） ・作った作品の中から一番よいものを選び、作品にあった背景のイラスト考えさせる。
2 ・ 3 ・ 4	1. コンピュータを活用して作品作りをする。 ①俳句や短歌を書き込む。 ②俳句や短歌に合うイラストを描く。 ・スマイル 2 の開き方 ・文字入力の仕方 ・文字の拡大・縮小・かざり ・スタンプの使い方 ・線の描き方 ・写真の貼り付け	・スマイル 2 を活用して作品を作ることと簡単な機能について説明をする。 ・下書きをもとに作品作りをさせる。 ・ローマ字入力が苦手な児童は、文字パレットを活用してひらがな 50 音で入力するように指導する。 ・作品作りの 1 時間目はいろいろな機能を使わせることで、スマイル 2 の機能を活用して工夫した作品作りが行えるようにする。 また、作品の保存の仕方を復習し、自分の作品

	・保存の仕方 ・ぼかしやスプレーなどの仕方	をしっかりと保管し、次の時間に活用できるように指導する。 ・2つ目の作品作り以降、写真の貼り付けや加工などの技能も指導し、技能の向上を図る。 ・技能の習得は教師だけでなく友達同士で教え合うなどして、操作技能の向上を目指す。
5	1. 作品を発表しあう。 ・俳句や短歌 ・イラスト作成上の工夫	・作品を紹介しあうことで、国語の表現力の向上を目指すとともに、コンピュータについて意欲を高め、更に技能を高めるようにする。 ・イラスト作成上の技能などを紹介し合い、さらにいろいろな表現方法があることを知らせる。

5. 成果と課題

今回、作品作りを行うことで、児童のコンピュータの操作技能が高まってきた。3時間の活動を通して、児童はいろいろな技能を楽しみながら学んでいた。時には失敗してしまう児童もいたが、繰り返し取り組むことで技能は高まってきた。

また、コンピュータの特性を生かすことで、絵を描くことが苦手な児童も、意欲的に取り組むことができた。ただ単に、絵を描くだけでなく、短歌や俳句を考えることで、国語の復習にもつながったし、ローマ字の使い方も復習ができた。

本校では、12月にコンピュータ室の改修工事があった。それにともなって新しいソフトなどを教師自身が学習し、どのように児童に必要な技能を身に付けさせていくのが今後の課題である。

